

日中対照言語学会第30回大会（2013年度冬季大会）のご案内

記

日 時：2013年12月15日（日）午前9時00分より午後5時30分まで

会 場：大阪産業大学梅田サテライト（JR大阪駅南口下車、阪神百貨店右の通りを直進、
徒歩約5分、大阪駅前第三ビル19階。大阪市北区梅田1-1-3。電話
06-6442-5522）

参加費：1000円（会員、非会員共通）

プ ロ グ ラ ム

- 受付（9：00-）
総合司会 安本真弓（高千穂大学）
- 大会開催校挨拶 張黎（大阪産業大学） 9：20-9：30
- 開会の辞 余維（関西外国語大学） 9：30-9：40
- 研究発表1. 日本語の「てもいい」と中国語の“可以”
王 其莉（西南学院大学言語教育センター） 9：40-10：15
- 研究発表2. 「べきだ」と「なければならない」
一バ節との共起から見た両者の差異を中心に一王慈敏（千葉大学人文社会科学部研究科）
10：15-10：50
以上司会 彭飛（京都外国語大学）
- 休憩（15分：10：50-11：05）
- 研究発表3. 否定の働きかけの日中対照研究 11：05-11：40
王慶（九州外国語学院・専任講師）
- 研究発表4. とりたて詞と中国語表現 11：40-12：15
藤田昌志（三重大学） 以上司会 于康（関西学院大学）
- 昼休み（60分 ビルの階下に食堂街あり） 12：15-13：15
- 講演1 日本語の意味階層構造に関わるいくつかの話題 13：15-14：15
益岡隆志（神戸市外国語大学） 司会 下地早智子（神戸市外国語大学）
- 講演2 英語におけるモダリティの分類と否定の作用域をめぐって：日英比較の観点から
14：15-15：15
澤田治美（関西外国語大学） 司会 余維（関西外国語大学）
- 休憩（20分：15：15-15：35）
- 研究発表5. “呢”の時間性と語気性について 15：35-16：10
王学群（東洋大学）
- 研究発表6. モダリティ表現の語順 16：10-16：45
高橋弥守彦（大東文化大学） 以上司会 続三義（東洋大学）
- 閉会の辞 豊嶋裕子（東海大学） 16：45-17：00
- ※当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます。（年会費：社会人4000円、院生2000円）

講演1 日本語の意味階層構造に関わるいくつかの話題

13:15-14:15

益岡隆志(神戸市外国語大学) 司会 下地早智子(神戸市外国語大学)

要旨

本発表の目的は、日本語を対象として、構成意味論の立場からモダリティを意味階層構造のなかに位置づけたうえで、そのような見方をめぐるいくつかの話題を提供することである。

本発表では、初めに、意味階層構造とそのなかでのモダリティの位置づけについてその概要を述べる。それをもとに、意味階層構造に関わる3つの問題-すなわち、(1)意味階層構造に主題がどう位置づけられるか、(2)主題構文との関わりにおいてノダ構文の意味がどのように分析されるか、(3)敬語表現が主観性の問題とどう関係するか-について考察してみたい。

講演2 英語におけるモダリティの分類と否定の作用域をめぐって：日英比較の観点から

14:15-15:15

澤田治美(関西外国語大学) 司会 余維(関西外国語大学)

要旨

本発表では、以下の問題を論じてみたい。

- (A) モダリティとは何か。
- (B) 英語におけるモダリティの分類
- (C) 否定とモダリティとの相互作用

モダリティ研究には、様々な分野があり、様々な学派があり、様々な角度がある。分野に関して言えば、哲学、論理学、言語学などが、学派に関しては、生成文法、認知言語学、体系文法、語用論、関連性理論、意味論、歴史言語学、言語類型論などが、角度という点からは、「認知的/根源的」、「主観性/客観性」、「否定」、「条件性」、「疑問」、「現実性/非現実性」、「言語行為」、「コンテキスト」などがある。

Palmer (1990: 12)によれば、英語の法助動詞を分析するに際して有効な分類は、「認知的」(話し手の推量など)、「力動的」(能力・可能、意志など)、「束縛的」(許可、義務、約束など)である。モダリティの分類法と否定との相互作用に関する研究は、De Haan (1997: 12)などを除いて、非常に少ない。しかし、モダリティに対して、否定の作用域(scope)という角度から接近することは、モダリティの本質を考えるうえで有効である。本発表では、日英対照という観点からアプローチする。

研究発表

①. 王慈敏（千葉大学人文社会科学研究所）

発表テーマ：「べきだ」と「なければならない」ーバ節との共起から見た両者の差異を中心にー

要旨：従来の研究では、ベキダとナケレバナラナイについては、意味解釈に止まる傾向があると捉えられている。

高梨(2010)はナケレバナラナイの基本的意味を「当該事態が実現しないことが許容されないことを表す」、ベキダの基本的意味を「当該事態が妥当であることを表す」とする。しかし、次のような用例の問題は従来の研究が言及していないことである

(1) 結婚すれば、相手の家族も大切にしなければならない/*すべきだ。

(2) 結婚していれば、相手の家族も大切にしなければならないよ!??すべきだよ

上記のような例文のようにバ節とベキダとナケレバナラナイの共起関係は異なっている。本発表はバ節との共起から見た両者の差異を中心に考察を行う。そして、以下の二点に焦点を当てながら、例文を分析する。一点目は、複文の「前件 p」で述べられた事態と「後件 q」で述べられた事態の関係について、二点目は前件 p の性質についてクローズアップすることで分析を試みる。考察の結論として、両者の相違点について概略次のように整理してみたい。

(1) バ節と共起した例の前件 p が状態性に限られているや否や (ナケレバナラナイ：×、ベキダ：○)

②. 王 其莉（西南学院大学言語教育センター）

発表テーマ：日本語の「てもいい」と中国語の“可以”

要旨：(431 字) 本発表は日本語の「てもいい」と中国語の“可以”の意味用法を比較対照したものである。その結果、次の 2 点が分かった。① 「てもいい」の基本的意味は「当該事態の実現が許容されること」であるが、その背後には「当該事態の実現」と「話し手の希望」がリンクしている。当該事態が未実現の場合は、当該事態の実現が話し手の希望ではないのに対し、非実現の場合は話し手の希望である。② 両形式の意味用法の違いは両形式の基本的意味と派生的意味のかかわりの違いによって説明できる。「てもいい」の基本的意味は「許容」であり、「当該事態の実現」と「話し手の希望」がリンクしていることに制約される。そのため、当該事態が未実現の場合において「てもいい」は「許可の請求」「許可」「意向」の用法しか派生できない。それに対し、“可以”の基本的意味は「可能」であり、「当該事態の実現」と「話し手の希望」がリンクしていないため、“可以”は「許可の請求」「許可」「意向」の他に「勧め」「意志」の用法にも派生できる。

③. 王慶（九州外国語学院）

発表テーマ：否定の働きかけの日中対照研究

要旨：日本語で「モダリティ」、中国語で「语气」と呼ばれる分野の研究において、語順、品詞、意味機能などあらゆる面で大きく異なる日中表現の一つに、仁田（1991）で「否定の働きかけ」と呼ばれる類のものが取り上げられている。本発表では、日本語の「な」と中国語の「別」を研究対象に、「X な」と「別 Y」の文法上の振る舞いと意味機能の相違を比較し、その統一的な分析を試みる。

(1) Verb な。

a. 例：私がいいと言うまで、だれも部屋に入れるな。

b. 例：もう泣くな。心配することなんて、何にもないよ。

(2) 別 A

a. 別 Verb。 例：別喝！有毒！（飲むな。毒が入っている。）

b. 別 Verb 了。例：你别喝了，再喝就醉了。（もう飲むな。酔っ払っちゃうよ。）

c. 別 Verb 着。例：小心，别捧着。（気をつけて、滑らないでね）

d. 別 Adjective 了。 例：别无聊了。（もうくだらないことをするな）

e. 別 Noun 了。 例：别地震了。（まさか、地震でも起きたのか。）

結論から言うと、日中間言語現象そのものが異なっているにもかかわらず、否定の働きかけ表現には「否定的な意志（ある事柄が起きないようにという願望）」が働いていると言えよう。

④. 藤田昌志（三重大学）

発表テーマ：とりたて詞と中国語表現

要旨：モダリティ（話者の心的態度）が他の言語と比べて高度に文法化、相対的に明示化されている日本語の特徴をよく表しているものとしてとりたて詞（日）がある。それに対して中国語ではどのような表現がとりたて詞（日）に対応するか、また減訳（日→中）（注：非明示となること。以下「減訳」）されるのかについて、日本の文学作品とその中国語訳三種を資料にして調べ、考察した。以下はその結果である。①とりたて詞の使用数量は多い順から「も」（80例）、「なんて」（75例）、「だけ」（66例）、「なんか」（62例）、「しか」（38例）、「さえ」（24例）等（以下、省略）であった。②減訳が使用頻度として上位に来るものに対応するとりたて詞は中国語話者日本語学習者が日本語学習上、相対的に困難を感じるとりたて詞である。「なんて」「なんか」「など」「ぐらい」「でも」等がそれである。③最も使用数の多い「も」の下位分類は意味的に見ると使用頻度数の多い順から1.「多さの強調」（26例）2.「予想基準外の多量＋スル」（20例）3.「全く～シナイ（一度も～シナイ）」（11例）等であった。対応する中国語表現にはそれぞれ直訳や意識、減訳等がある。④とりたて詞に対応する中国語表現では「なんて」→“根本”、「だけ」→“至少”、「なんか」「さえ」「まで」「すら」→“甚至”などの副詞が使用されるのが注意を引く。「なんて」「なんか」「など」→“竟然”などの対応もみられ、加訳（日→中）（注：中国語が明示となること。）の関係で、日本語話者中国語学習者の中国語学習上の困難な個所を想起させ、注意を引く。

⑤. 王学群（東洋大学）

発表テーマ：“呢”の時間性と語気性について

“呢”が動作の継続を表すと同時に話し手のモーダルな意味も表すことは、周知のとおりである。本稿では、先行研究を踏まえながら、“呢”のこのような用法と語気性を考察し、それを明らかにする。

⑥. 高橋弥守彦（大東文化大学）

発表テーマ：モダリティ表現の語順

要旨：各言語は一般に命題（proposition）とモダリティ（modality）に大別できる。命題は具体的な内容を表し、モダリティは心的態度を表す。心的態度を表すモダリティは、中国語では命令・勧誘・疑問などを表す語気助詞（例1）と能力・願望・必然などを表す能願動詞（例2, 3, 4, 5）に大別できる。たとえば、以下の例文にあるとおりである。

- (1) 帮帮我的忙吧。（『八百詞』p.9）ちょっと手伝ってくれよ。（同上）
- (2) 借东西要还。（『八百詞』p.385）。ものを借りたら返さなくては。（同上）
- (3) 说话、写文章都要简明扼要。（『八百詞』p.385）話や文章は簡明かつ要点をつかんでいなくてはならない。（同上）
- (4) 这个柜子要四个人抬才抬得动。（『八百詞』p.385）この戸棚は4人がかりでやっと動かせる。（同上）
- (5) 应该提倡节约，必须要花的钱才花。（『八百詞』p.385）節約を奨励し、どうしても必要な金だけを使うように。（同上）

本発表では、能力・願望・必然などを表す能願動詞としてのモダリティをとりあげ、以下の3点について検討する。

- i. 能願動詞は、なぜ動詞・形容詞・名詞性語句などの前に用いることができるのか。
- ii. 副詞はなぜ能願動詞の前に用いるのか。
- iii. 能願動詞はなぜ重ねて用いることができるのか。